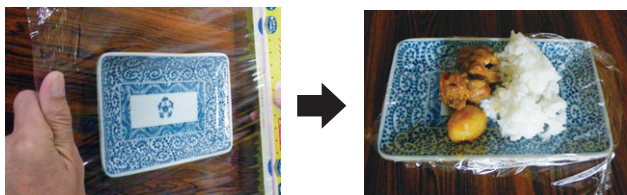


## 災害に学ぶ。災害時役立つ工夫を活かそう

東日本大震災をはじめとする過去の災害で役に立ったと言われる品を紹介します。いざという時に備える「非常持ち出し品」の中に入れておきましょう。

### 災害時役立つ品① ラップ

**食器洗いの代用**…水不足の時、食器の上に敷けば同じ皿を何回も使えます。



**傷の手当に活用**…包帯をひんぱんに交換できないとき、上からラップを巻いて、ほこりや汚れから守ります。

**防寒の役割**…ラップを体に巻きつけることにより、保温し温かくなります。

**ひもの代用**…長いラップをねじることによりヒモの代わりになります。

**伝言板として活用**…ラップをガラスなどにピッタリとはりつけ、マジックで伝言を書くことができます。

### 災害時役立つ品② ポリ袋、レジ袋

**防寒着、レインコートに**…袋の3カ所に穴を開けて、頭と両手を出して使用します。

**ボールの代わり**…材料を混ぜる料理などで使えます。

**救護用**…直接傷口に触らない方がよい場合、手袋の代わりに使用します。



▲ポリ袋で作成した防寒着

### 災害時役立つ品③ 新聞紙

**防寒対策**…新聞紙をくしゃくしゃにして、衣類と衣類の間に入れて体を暖めます。

**生活用品**…新聞紙を折りたたみ、スリッパ、入れ物、袋の代わりに使用します。

**救護用**…新聞紙を折りたたみ骨折時の添え木代わりとして使用します。



▲新聞紙で作ったスリッパ

### 新聞紙が、寝具や食器にも…

新聞紙をよくもんでごみ袋に入れ、そこに足を入れて暖めます。ごみ袋をしばり枕や布団の代わりにします。また、新聞紙とビニール袋でコップが、新聞紙とアルミホイルで皿ができます。



▲新聞紙とごみ袋で作った、枕

### 「みしまるホットメール」で情報取得

災害時、メールなどのパケット通信は、電話よりもつながりやすい状況でした。情報収集が一番大切という人も多くおり、市では平常時より危機管理情報などをメールで配信しています。

ぜひ、登録して情報を取得してください。

登録のためのメールアドレス

t-mishima@sg-m.jp



▲登録用 QR コード

## わたしたちの自主防災組織



三島市防災指導員代表

喜多村 武さん

三島市防災指導員は、自主防災組織リーダー研修会などの図上訓練の指導などを行っている市民ボランティアです。



多くの人は「家具の固定など」を知っています。しかし、「実行」しているかは別です。知識があっても「実行」が伴わなければ意味がありません。平常時に“自助”のための対策を「実行」してください。災害において、自分の命を守ること・ケガをしないことが大切です。“自助”がなければ“共助”＝人を助けることはできません。

また、自分の地域の弱点を知ることが大切です。それにより対策ができ、行動ができるからです。実行・行動することが大切です。

## 暮らしを彩った 機械たち (その1)

郷土資料館では年に三、四回企画展を開催し、平成二十六年一月三日(金)からは「暮らしを彩った機械たち」を開催します。

今回その企画展で展示する資料の中で、「家庭で音楽を楽しむ」を可能にした機械、蓄音機を紹介いたします。

蓄音機が最初に発明されたのは明治十年(一八七七)、発明王エジソンによってでした。その翌年にはイギリス人ユーイングによって日本でも録音・再生の実験が行われています。一般に知られるようになるのは明治時代中期です。明治三十年代には蓄音機を販売する店が登場しました。レコードが円筒形から現在と同じ円盤型になったのもこのころです。

写真①の蓄音機は、アメリカのビクター社から明治時代中期に発売された蓄音機です。大きなホーンは花型やベル付き、金属製や木

製など好みで交換できるようになっていました。

明治時代末期には、ホーンを内蔵して家具らしさを出した蓄音機②が登場しました。上蓋を開くとターンテーブルがあり、上の扉の中は内蔵されたホーンになっていて、ここから音が出ます。



▲①明治36~44年製造の蓄音機  
(ビクターV-II)

時代を経るにつれ、大きく立派な蓄音機から、小ぶりで扱いやすい蓄音機③に変わっていきます。持ち運びできる蓄音機や、電気蓄音機も登場しました。

大正時代、蓄音器は全国に普及し、初期には西洋音楽中心だったレコードも、庶民に人気の義太夫や浪花節など邦楽レコードが発売



▶②ホーン内蔵型蓄音機  
(ビクトロラVV-80)



▲③ポータブル蓄音機  
(コロムビアNo.230)

され人気を博しました。

蓄音機の登場前は、音楽を鑑賞するには会場に足を運ぶしかなく、名人の技を耳にできる機会は限られていました。蓄音器とレコードの登場により誰もが優れた音楽を楽しめるようになりました。

今回の企画展では蓄音機をはじめ、なつかしい機械を多数展示します。ぜひ、お越しください。



三島と古写真⑦

## 成人の日の三嶋大社

成人を祝う儀礼は古くからあり、男子には元服、禪祝、また、女子には裳着、結髪などがありました。

終戦間もない昭和二十一年十一月二十二日、埼玉県蔵市で、次代を担う青年たちに明るい希望を持たせ励ますために行われた、「青年祭」のプログラム「成年式」が、全国に広まりました。昭和二十三年、「成人の日」と制定され、「大人になったことを自覚し、みずから生きぬこうとする青年を祝いはげます」という趣旨のもと、国民の祝日となりました。

写真は、昭和四十一年一月十五日、三嶋大社境内での晴着姿の新成人です。大社の当日の日記にも、境内は参拝客で大いにぎわったことが記されています。



▲昭和41年1月15日三嶋大社